
JFEシステムズ株式会社

2007年9月中間期 決算説明会

2007年10月26日

目次

- . 2007年9月中間期決算概況 P 3
- . 2008年3月期業績見通し P14
- . 重点課題への取り組み P23
(補足資料: 単体損益) P38

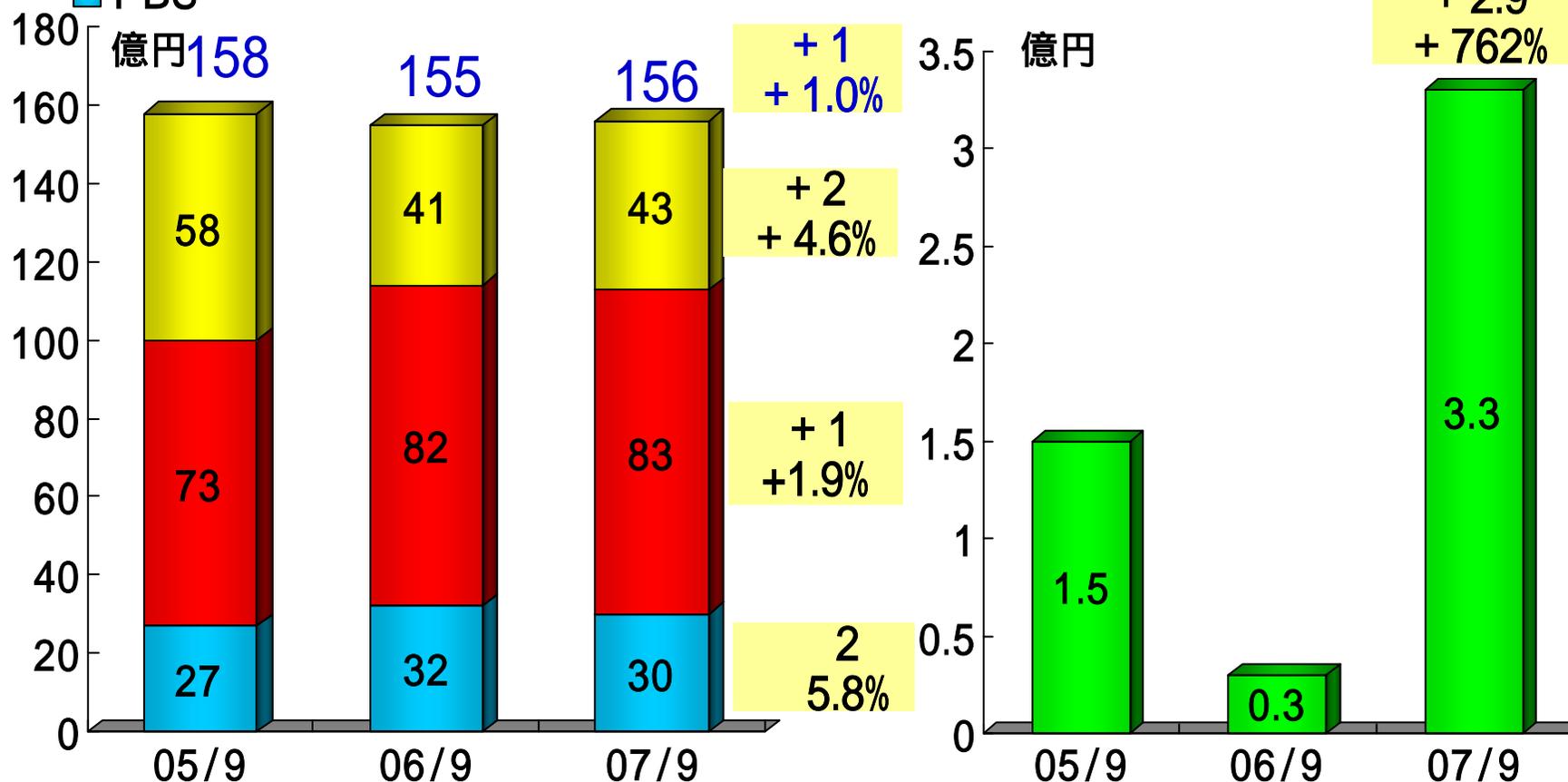
・2007年9月中間期 決算概況

2007年9月中間期の収益実績概要

< 連結売上高 >

< 連結経常利益 >

- BAS (JFEスチール向け) BAS: ビジネスアプリケーション・システム事業
- BAS (JFEスチール以外) PBS: プロダクトベース・ソリューション事業
- PBS



2007年9月中間期の業績(連結:計画比)

単位:百万円

	計画	実績	計画比増減	
			金額	率
売上高	15,500	15,689	189	1.2%
営業利益	300	329	29	9.7%
経常利益	300	333	33	11.0%
(経常利益率)	1.9%	2.1%	0.2%	-
中間純利益	110	135	25	22.7%
EPS(円/株)	1,400	1,719	319	22.7%

■売上高、経常利益
とも計画通り達成

2007年9月中間期の業績 (連結:前年同期比)



単位:百万円

	2006/9 中間期	2007/9 中間期	増減	
			金額	率
売上高	15,528	15,689	161	1.0%
売上総利益	2,232	2,582	350	15.7%
(売上総利益率)	14.4%	16.5%	-	-
営業利益	32	329	297	917.8%
経常利益	38	333	296	761.5%
(経常利益率)	0.2%	2.1%	-	-
特別損益	485	61	424	-
中間純利益	280	135	415	-

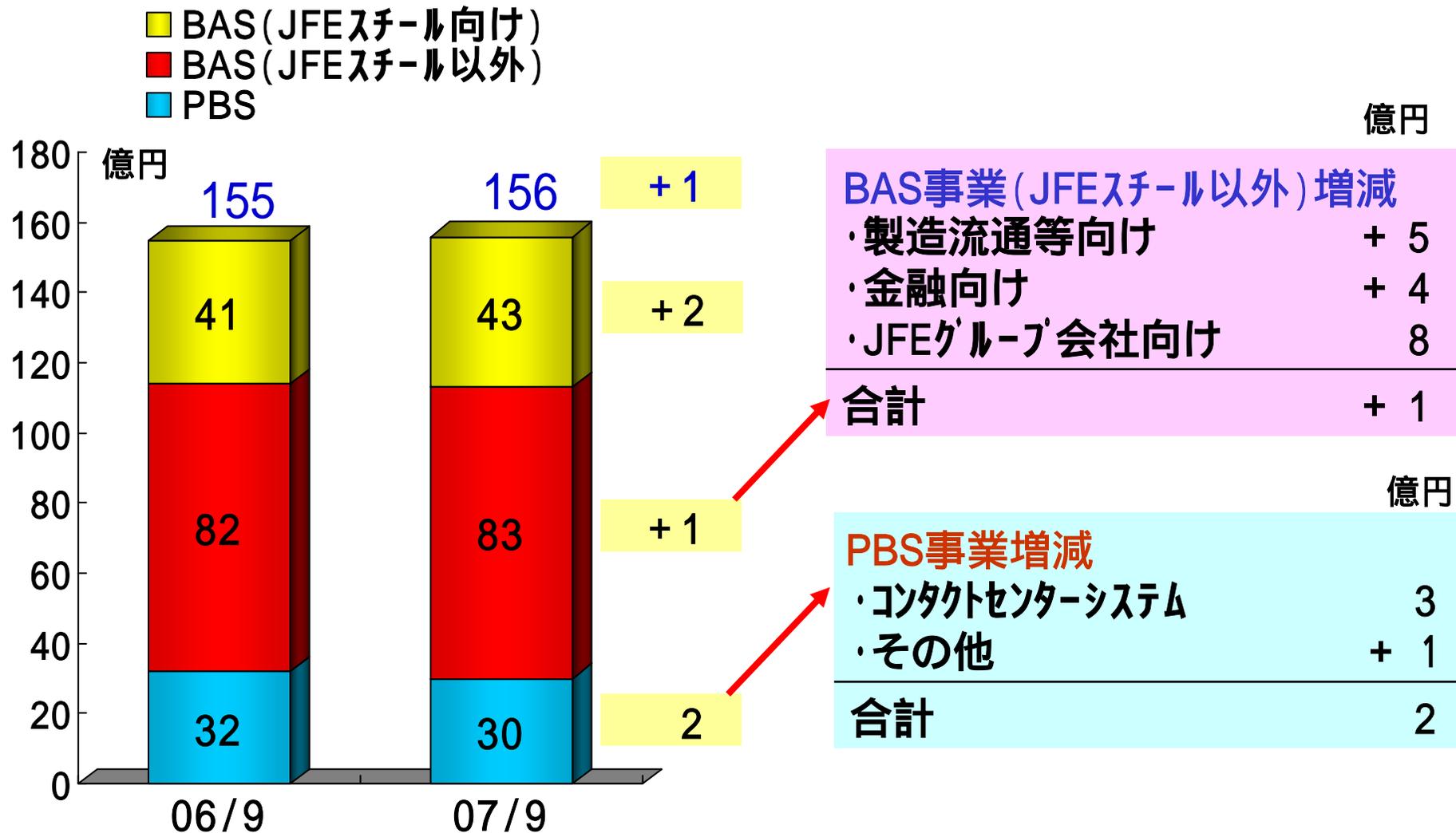
■前年同期に大型案件の開発中止による特別損失の計上 今中間純利益は大幅増

■営業利益、経常利益が前期実績を大幅に上回った。

2007年9月中間期(連結:対前年同期)



売上高増減の要因



2007年9月中間期事業別売上総利益 内訳(連結:前年同期比)



単位:百万円

	2006年 9月中間期	2007年 9月中間期	増減	
			金額	率
BAS事業	1,706	2,019	312	18.3%
(売上総利益率)	13.8%	15.9%	-	-
PBS事業	525	563	38	7.2%
(売上総利益率)	16.4%	18.7%	-	-
全社計	2,232	2,582	350	15.7%
(売上総利益率)	14.4%	16.5%	-	-

2007年9月中間期 売上総利益増減の要因(連結:前年同期比)

百万円

売上総利益増減要因(大幅な増益、○増益、 横ばい、 ×減益)	影響額
1. BAS事業 ○金融、製造流通向けの 重点顧客戦略 の推進 ○ プロジェクトリスク管理の強化や生産性向上活動 の成果により、利益率が改善 × JFEグループ会社向けの大型統合案件の減少	+ 312
2. PBS事業 ○ コンタクトセンターシステム事業 の売上減があったものの、商品在庫の評価損計上があった前年同期に比べ、利益率が改善	+ 38
合計	+ 350

2007年9月中間期

販管費、営業外損益の増減(連結:前年同期比)

■ **販売費・一般管理費：52百万円増加**

(06/9:2,200百万円 07/9:2,252百万円)

■ **特別損益：424百万円改善**

(06/9 : 485百万円*1 07/9 : 61百万円*2)

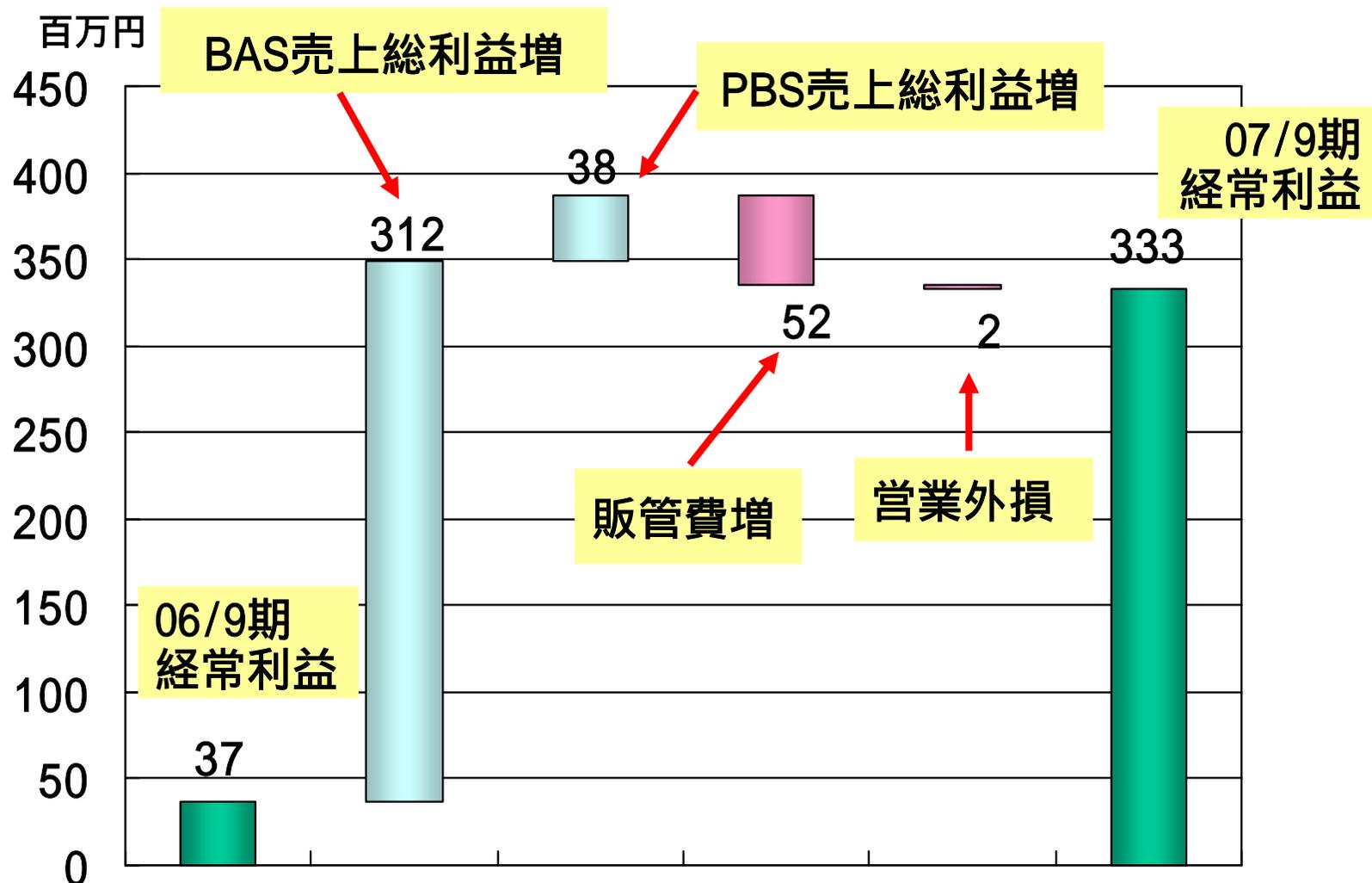
*1:06/9期に大型案件の開発中止による特損を計上

*2:過年度役員退職慰労金繰入額を計上

2007年9月中間期(連結:対前年同期)



経常利益増減の要因整理

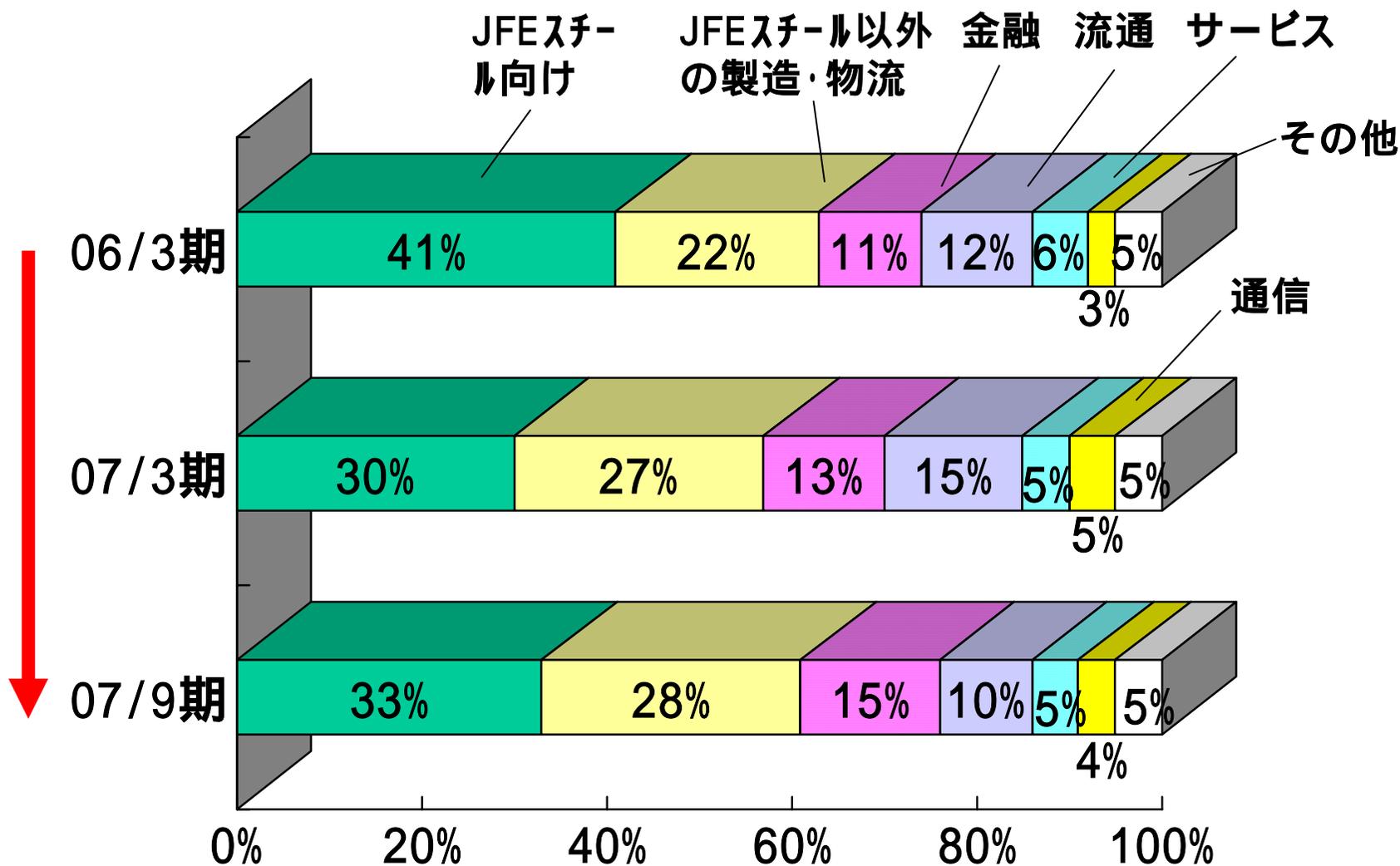


2007年9月中間期経営指標 (連結:前年同期比)

単位:百万円

	06/9期 実績	07/9期 実績	増減	
			金額	率
借入金	2,180	800	1,380	63.3%
自己資本	7,218	7,713	495	6.9%
総資本	15,378	13,739	1,639	10.7%
自己資本比率	46.9%	56.1%	-	-
ROE	3.9%	1.8%	-	-
従業員数(人)	1,570	1,530	40	2.5%
売上高/人	10.0	10.3	0.3	2.5%
経常利益/人	0.02	0.22	0.2	823.5%

2007年9月中間期 販売先業種構成(単体)

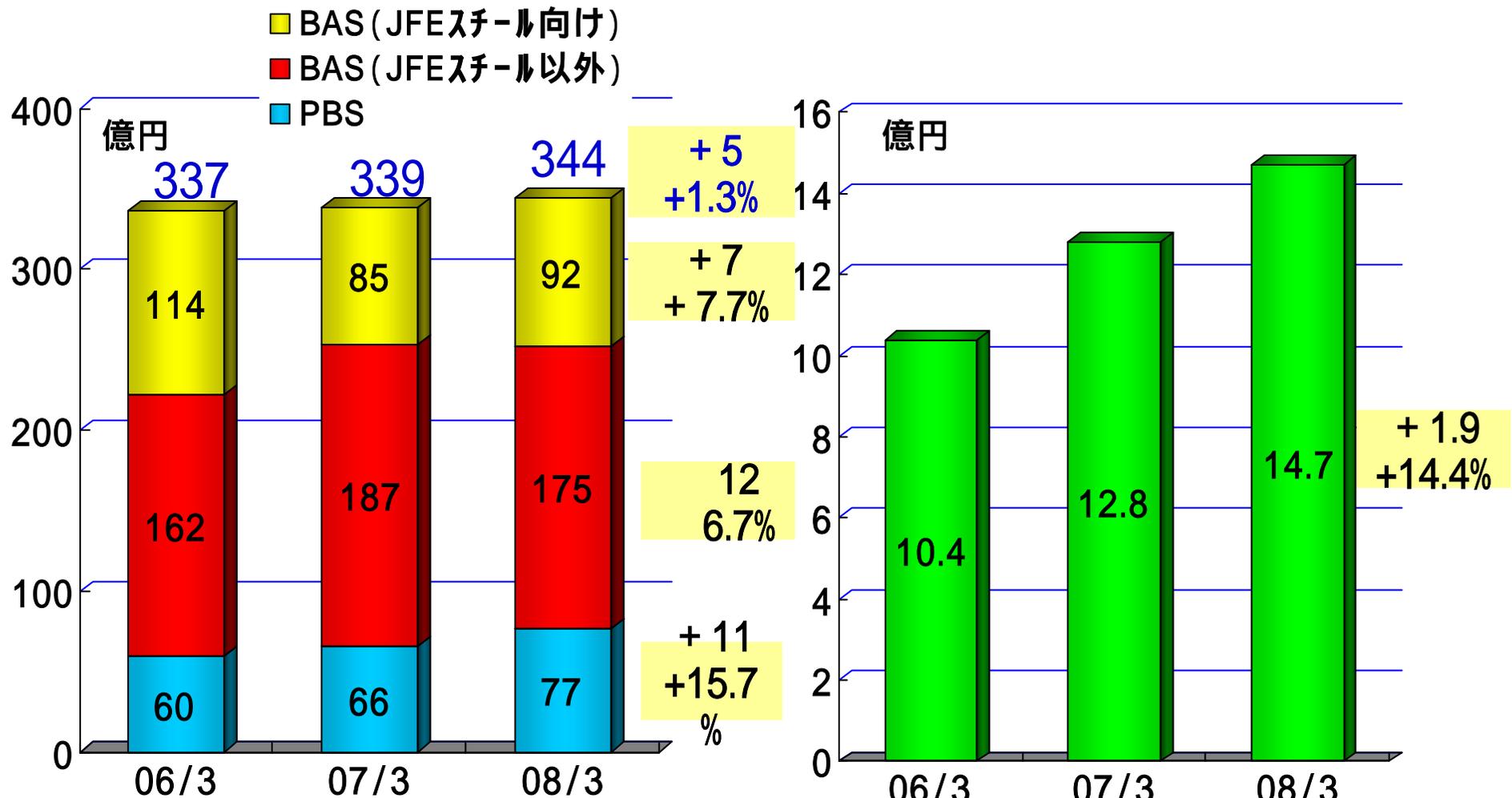


・2008年3月期 業績見通し

2008年3月期の収益見通し概要

連結売上高

連結経常利益



2008年3月期見込み(連結:前期比)

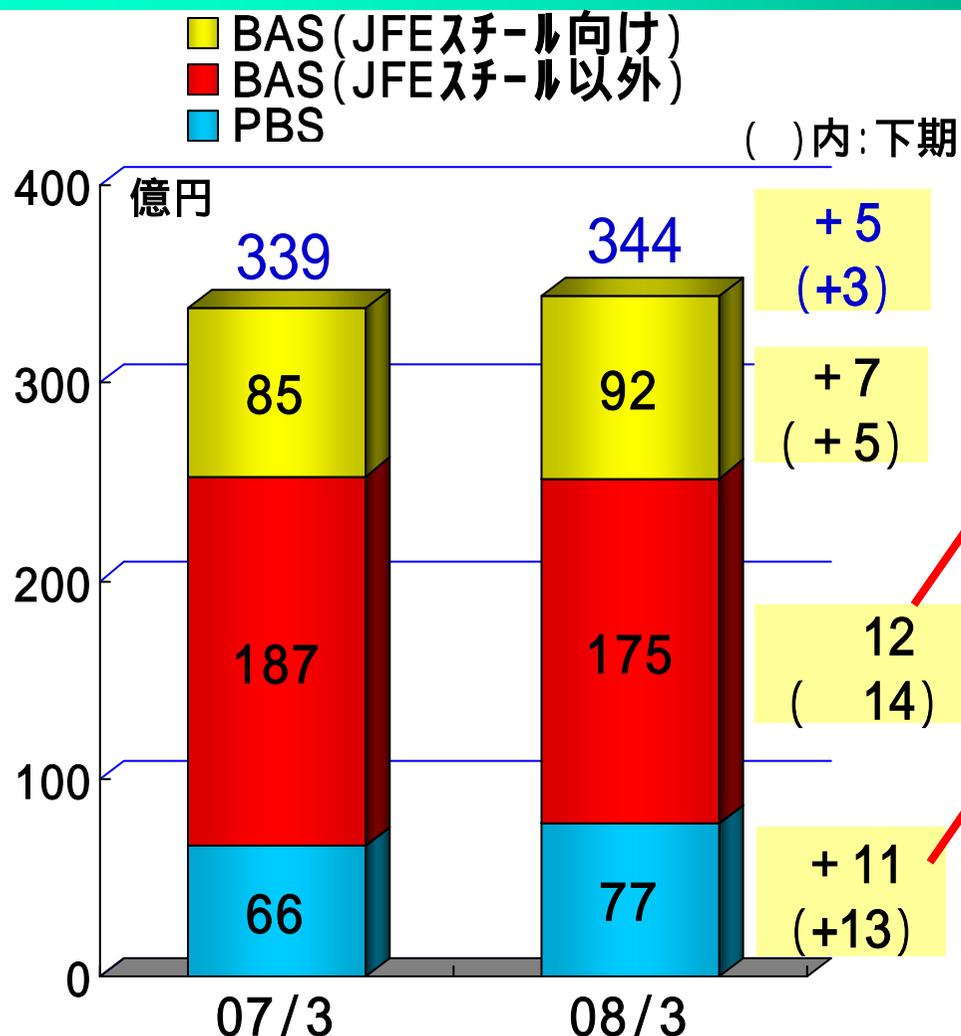
単位:百万円

	07/3 実績	08/3 見込み	増減	
			金額	率
売上高	33,948	34,400	452	1.3%
売上総利益	5,516	5,970	454	8.2%
(売上総利益率)	16.3%	17.4%	-	-
営業利益	1,278	1,470	192	14.9%
経常利益	1,284	1,470	186	14.4%
(経常利益率)	3.8%	4.3%	-	-
特別損益	625	61	564	-
当期純利益	303	770	467	154.1%
EPS(円/株)	3,858	9,805	5,947	154.1%

2008年3月期(連結)



売上高見通し増減の要因



()内:下期 億円

BAS事業(JFEスチール以外)増減

・金融向け	+ 5(+1)
・製造流通等向け	+ 9(+3)
・JFEグループ会社	26(18)
合計	12(14)

()内:下期 億円

PBS事業増減

・食品向けシステム	+ 4 (+4)
・NW運用	+ 2.5(+2)
・EC/EDI	+ 2 (+1.5)
・コンタクトセンターシステム	+ 1 (+4)
・その他	+ 1.5(+1.5)
合計	+ 11(+13)

2008年3月期見込み事業別売上総利益 JFE

内訳(連結:前期比)

単位:百万円

	07/3期 実績	08/3期 見込	増減	
			金額	率
BAS事業	4,252	4,238	16	0.4%
(売上総利益率)	15.6%	15.8%	—	—
PBS事業	1,264	1,732	468	37.0%
(売上総利益率)	19.1%	22.6%	—	—
全社計	5,516	5,970	454	8.2%
(売上総利益率)	16.3%	17.4%	—	—

< BASの増減 >

上期	+312
下期	328

< PBSの増減 >

上期	+38
下期	+430

2008年3月期見込み 売上総利益増減の要因(連結:前年同期比)

百万円

売上総利益増減要因 (大幅な増益、○増益、 横ばい、 × 減益)	影響額 ()内:下期
1. BAS事業 ○JFEスチール向け製鉄所戦略的IT投資対応の拡大 ○金融向け、製造流通向け重点顧客戦略の推進 ×× JFEグループ会社向けは大型統合案件が完了	16 (328)
2. PBS事業 食品新ソリューション(中小向け、流通連携)の展開 ○コンタクトセンターシステム有力顧客案件増と新CRM展開 ○その他EC/EDI等での下期収益拡大	+468 (+430)
合計	+454 (+102)

2008年3月期見込み



販管費、特別損益の増減(連結:前期比)

■**販売費・一般管理費** : +262百万円(下期+210百万円)

(07/3:4,238百万円 08/3:4,500百万円*1)

*1:人材育成費用等

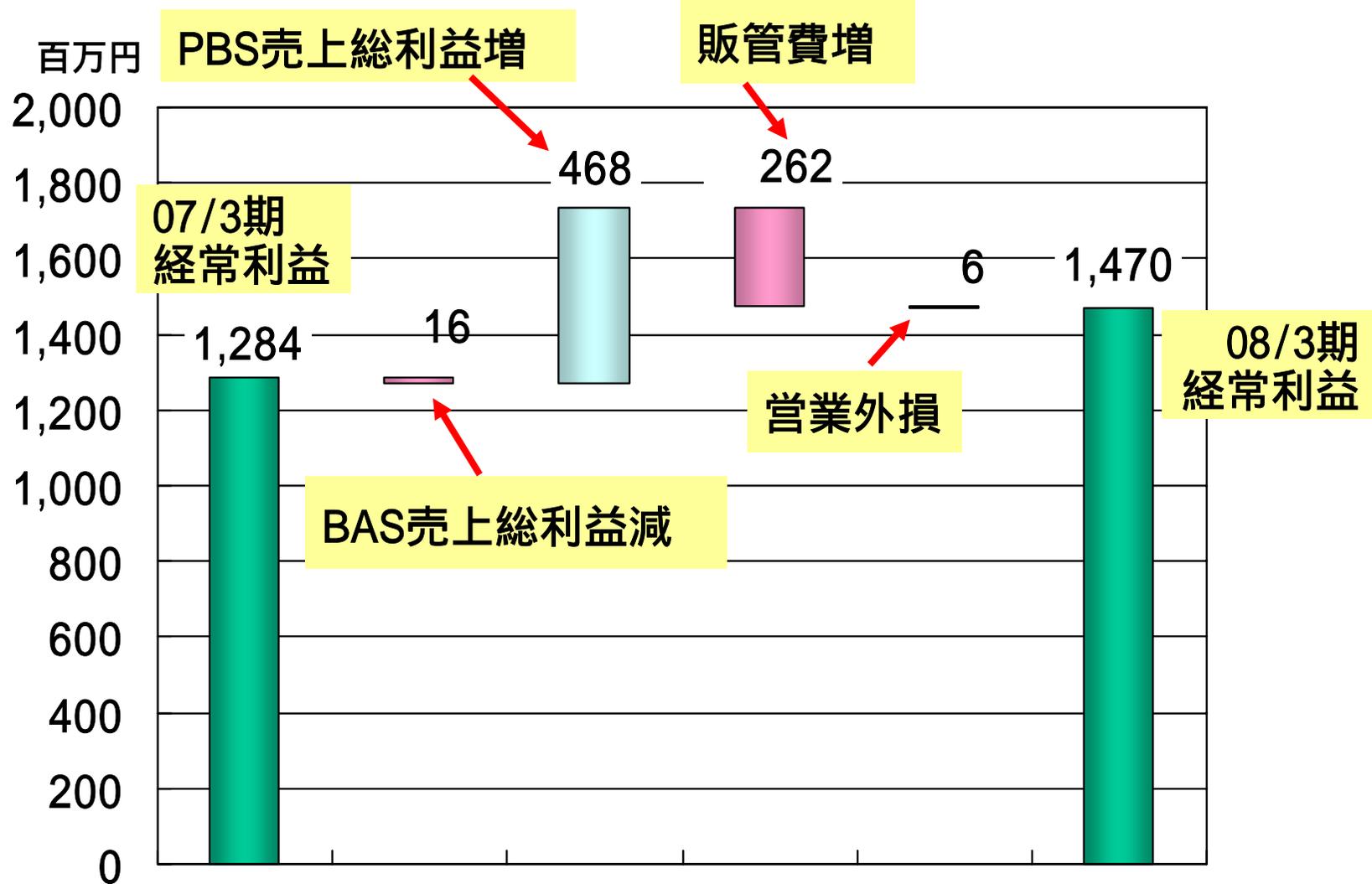
■**特別損益** : +564百万円(下期+140百万円)

(07/3: 625百万円*2 08/3: 61百万円*3)

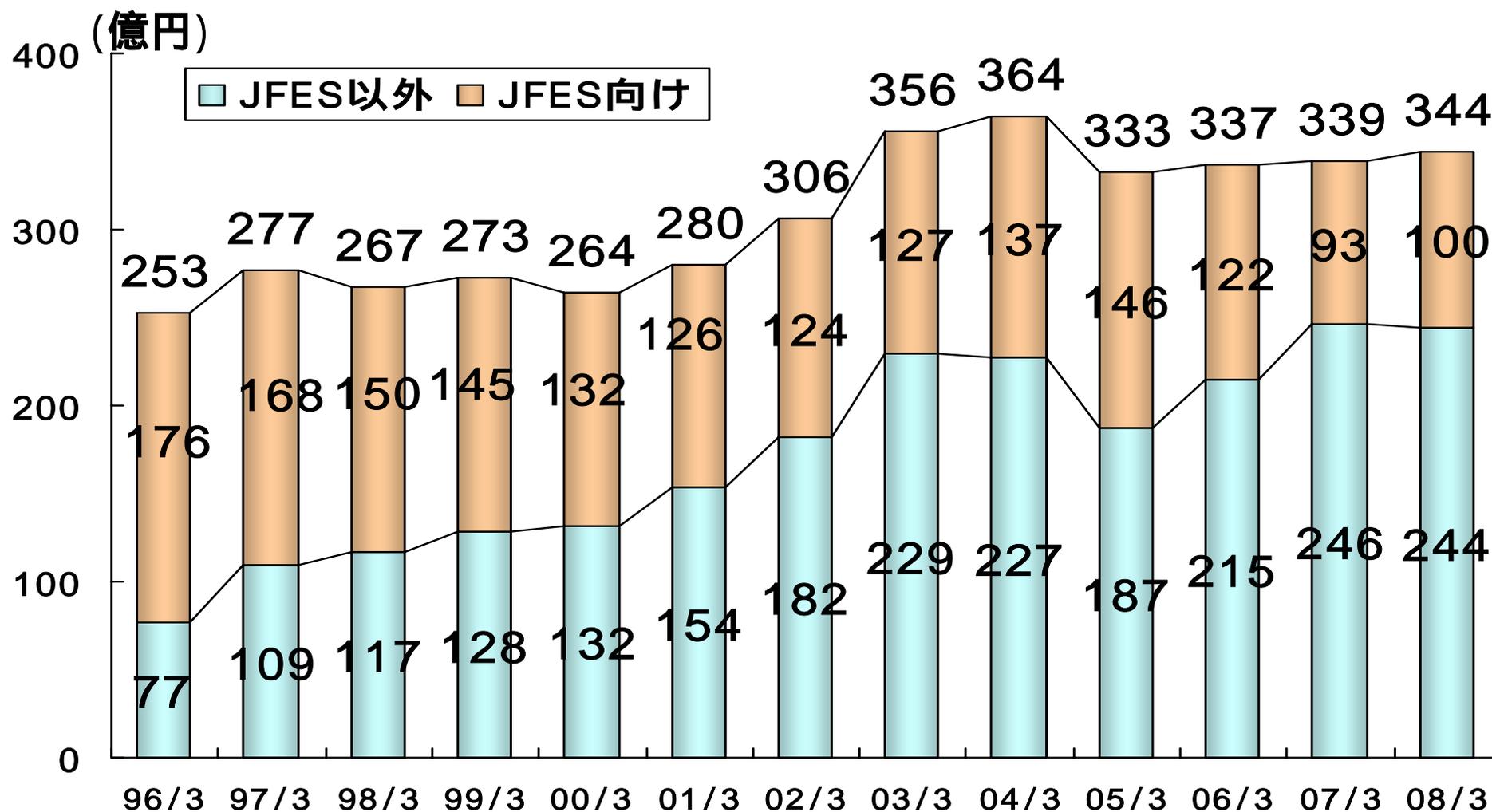
*2:大型案件開発中止による損失、事務所移転費用等

*3:過年度役員退職慰労金繰入額を計上

2008年3月期見通し(連結) 経常利益増減の要因整理



売上高の推移



(注) 03/3期以降は連結売上高を記載

(見込み)

重点課題への取組み状況

中期計画の重点課題

中期事業方針

安定的顧客基盤
の確立

収益体質の強化によ
る利益率の向上

アクションプラン

安定顧客の定着と開拓

独自ソリューションの強化

JFEスチール向け戦略投資への対応

プロジェクトリスク管理の強化

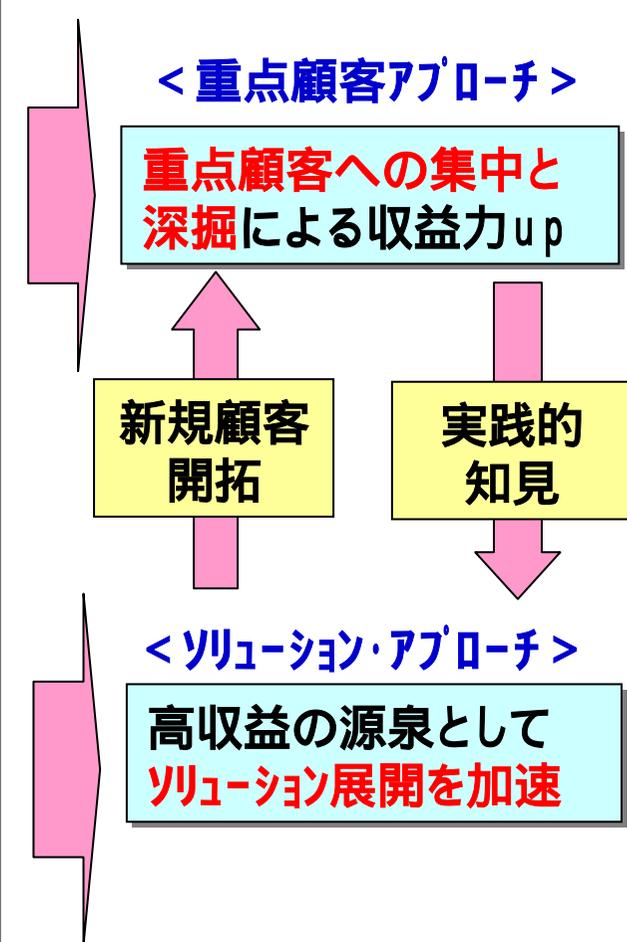
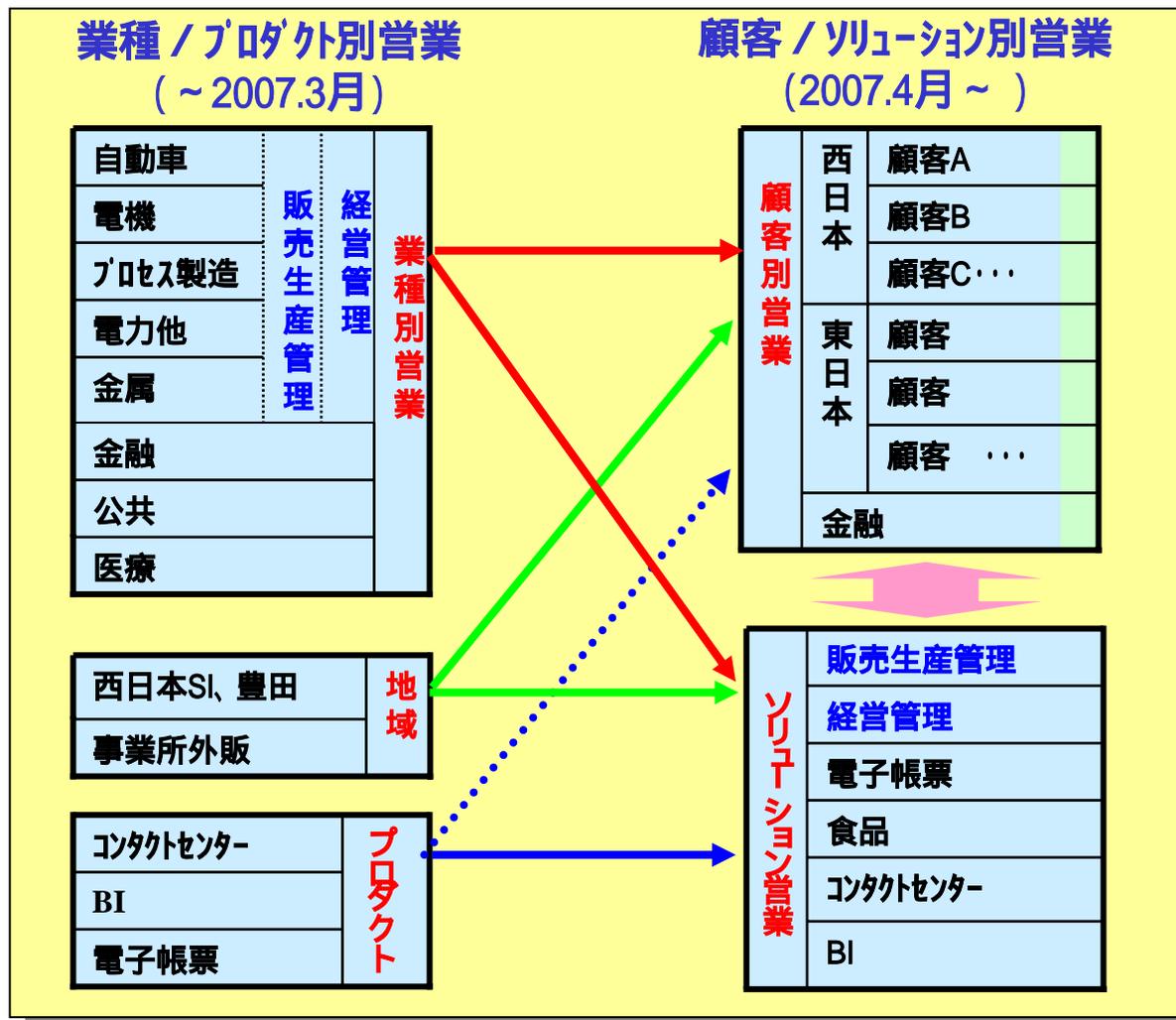
開発要員体制拡充 / 技術力の強化

アクションプランの進捗状況

アクションプラン	進捗状況
<ul style="list-style-type: none"> 安定顧客の定着と開拓 	<ul style="list-style-type: none"> 製造、金融、通信の分野で重点顧客アプローチを推進。 (売上高:05上22億円 06上31億円 07上38億円)
<ul style="list-style-type: none"> 独自ソリューションの強化と新規展開 	<ul style="list-style-type: none"> 食品、CRM等で新ソリューションを相次いでリリース。 J-Smileの技術適用を推進中。
<ul style="list-style-type: none"> JFEスチールのIT戦略投資への対応 	<ul style="list-style-type: none"> 製造領域(製鉄所)での戦略的IT投資がスタート J-Smile技術の製鉄所移管のため全社体制構築 開発コストMin.化のため共通エンジンや部品化を推進
<ul style="list-style-type: none"> プロジェクトリスク管理の強化 	<ul style="list-style-type: none"> プロジェクト推進部を中心としたリスク管理体制を整備。 大型不採算案件の発生を抑止し、損益改善に貢献。
<ul style="list-style-type: none"> 開発要員体制 / 技術力の強化 	<ul style="list-style-type: none"> 中長期的な要員構成を見据えた人材育成PJをスタート 有力パートナーとの連携 / 集中を推進 オフショア開発を推進(日揮情報とのアライアンス)

「安定顧客拡大」 & 「独自ソリューション展開」 を軸とする営業戦略の推進

■2007年4月に営業フォーメーションを一新



安定顧客の定着と開拓

製造、金融、通信分野で着実に推進中

製造等

- 自動車、建機:5社
- 電機/機械:6社
- 素材、流通他:8社

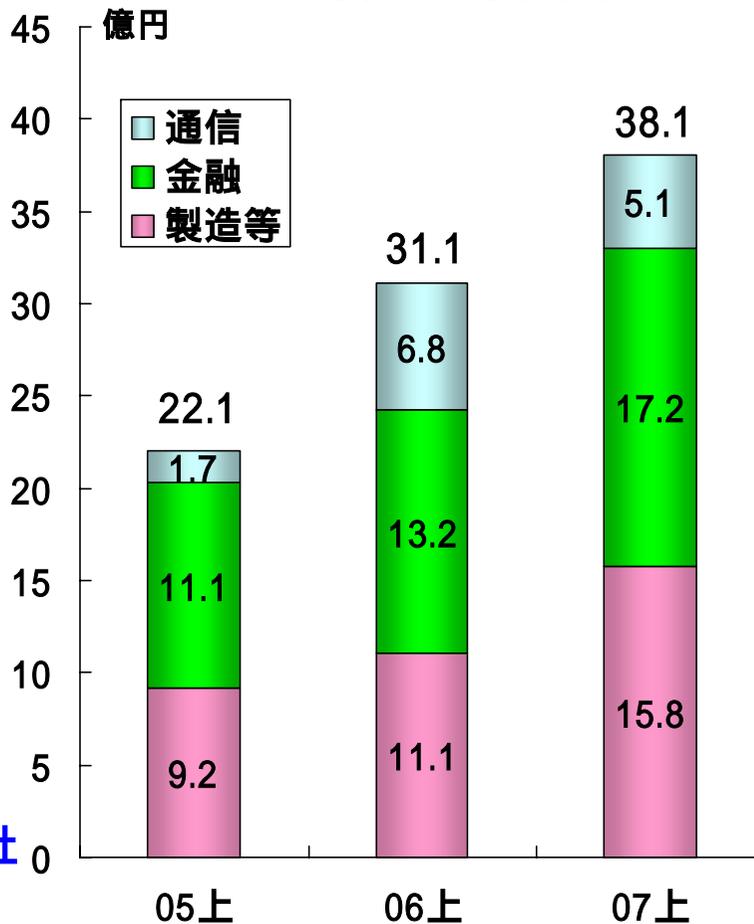
金融

- 銀行:3社
- 信託:3社
- カード:2社

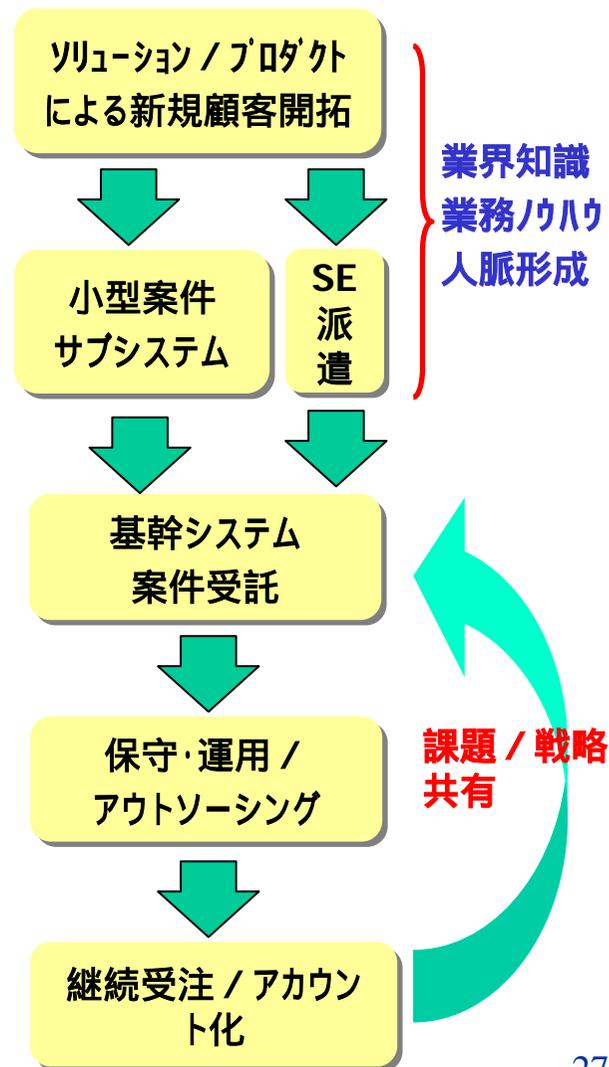
通信

- 総合通信キャリア:1社
- その他:1社

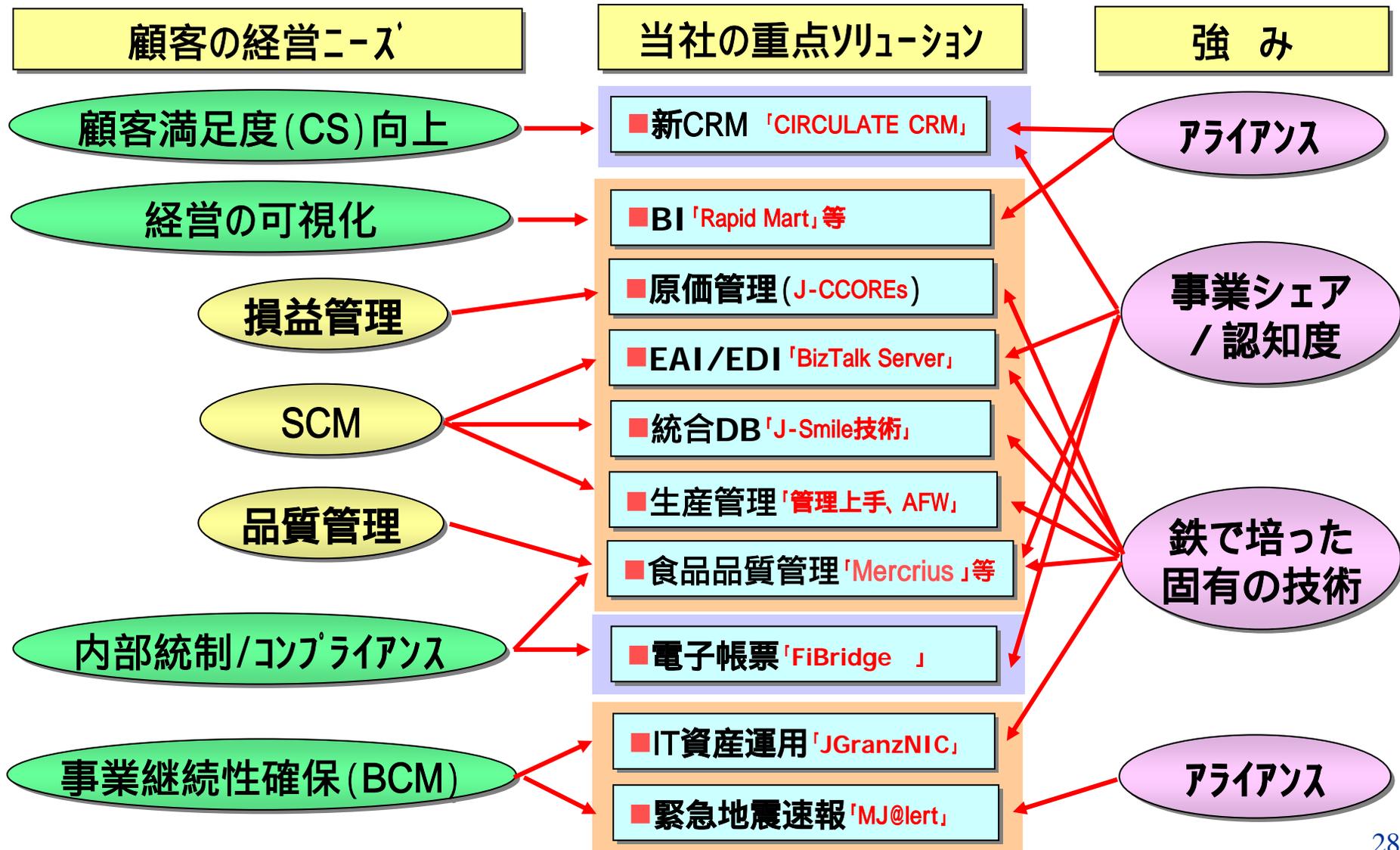
< 安定顧客売上高推移 >



アカウント化プロセス



独自ソリューションの強化



JFEスチール新統合システム「J-Smile」 技術の活用



JFEスチール新統合システム「J-Smile」の完遂 —大規模統合の成功事例—

「J-Smile」
JFE Strategic
Modernization & Innovation
Leading System

- 総投資額300億円、プログラム規模2,000万ステップ
- 鉄鋼基幹システムを世界で初めて全面オープン系技術で開発
JAVA言語、Win/Unix/Z-OS上で稼動
- **データモデリングと部品組立型開発の採用**
高品質、高開発生産性
ビジネス環境の変化に柔軟に対応(メンテナンスコストミニマム)
- 大手ベンダーに依存しない「自力開発」

2006年10月
経済産業大臣表彰「IT
経営促進部門」を受賞

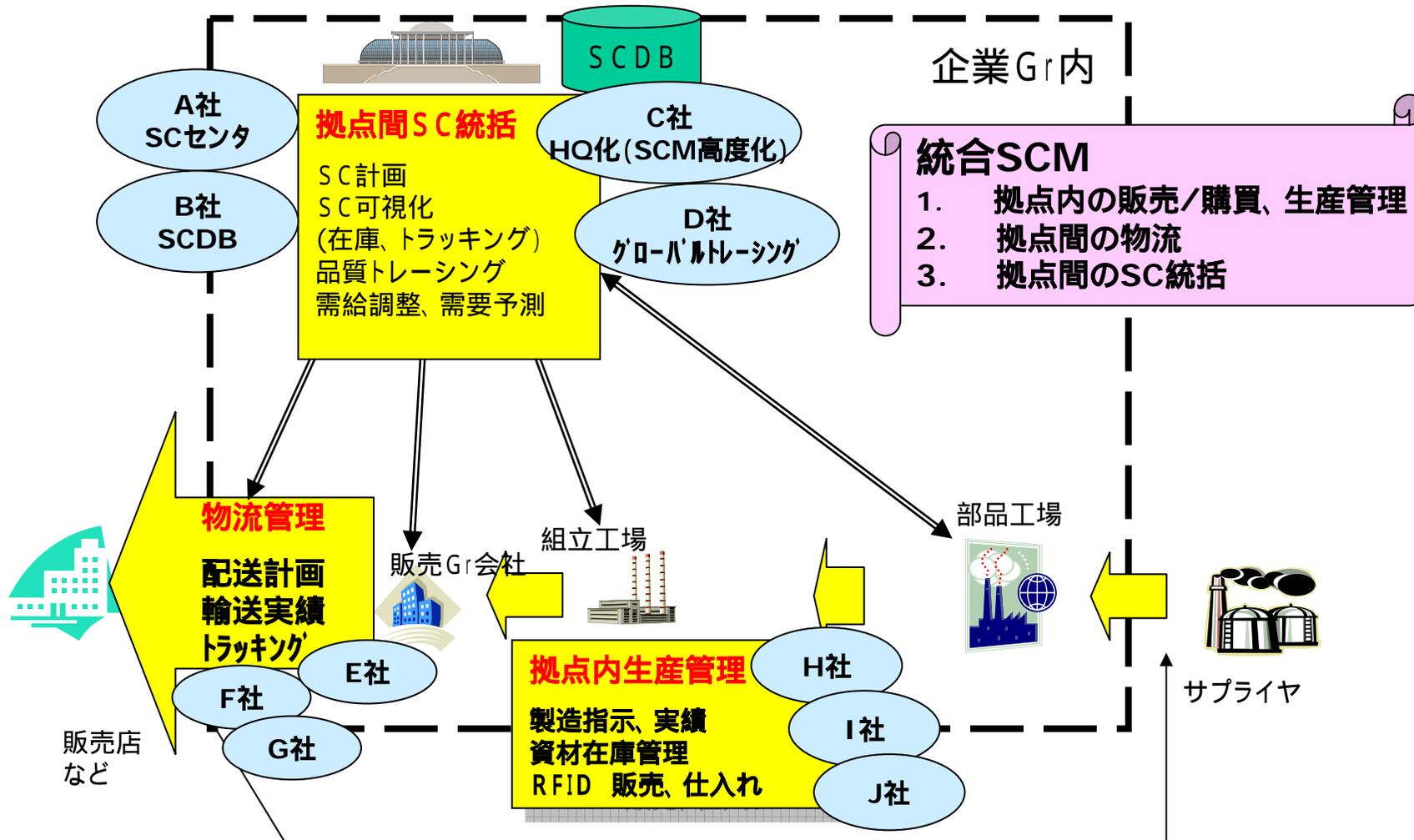
2007年7月
「IT Japan Award 2007」
準グランプリ を受賞

当社固有の技術として一般外販展開に活用

■ **データモデリング技術の適用** (環境の変化に迅速に対応)
Gr会社リフレッシュ案件に適用済み。SCM統合DB構築ユーザへ提案。

■ **JAVAフレームワークによる部品組立て型開発技術の適用**
開発納期短縮、コスト削減をアピール。

製造業顧客案件で培った 技術 / ノウハウの活用

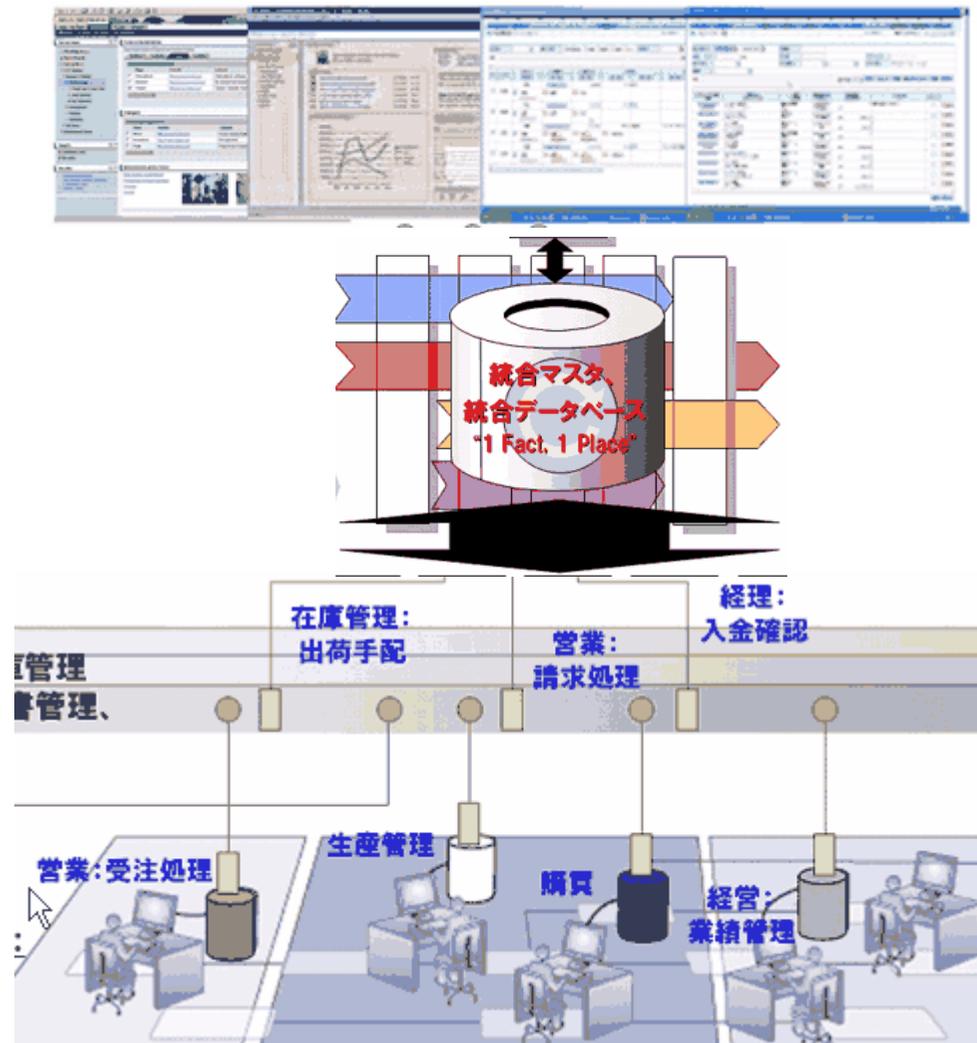


販売先、仕入れ元との連携はスコープ内

新ソリューション事例

SCMの「見える化」

SCMの「見える化」イメージ



閲覧
分析

統合
DB

業務
アプリ

独自ソリューション

- BI (ビジネスインテリジェンス)
「Rapid Mart」等
- データモデリング技術 / コンサル (J-Smile技術)
- EAI/EDI
「BizTalk Server」
- 生産計画ソリューション
「Rapid Response」
- 生産管理ソリューション
「AFW、管理上手、製造業ノハウ」

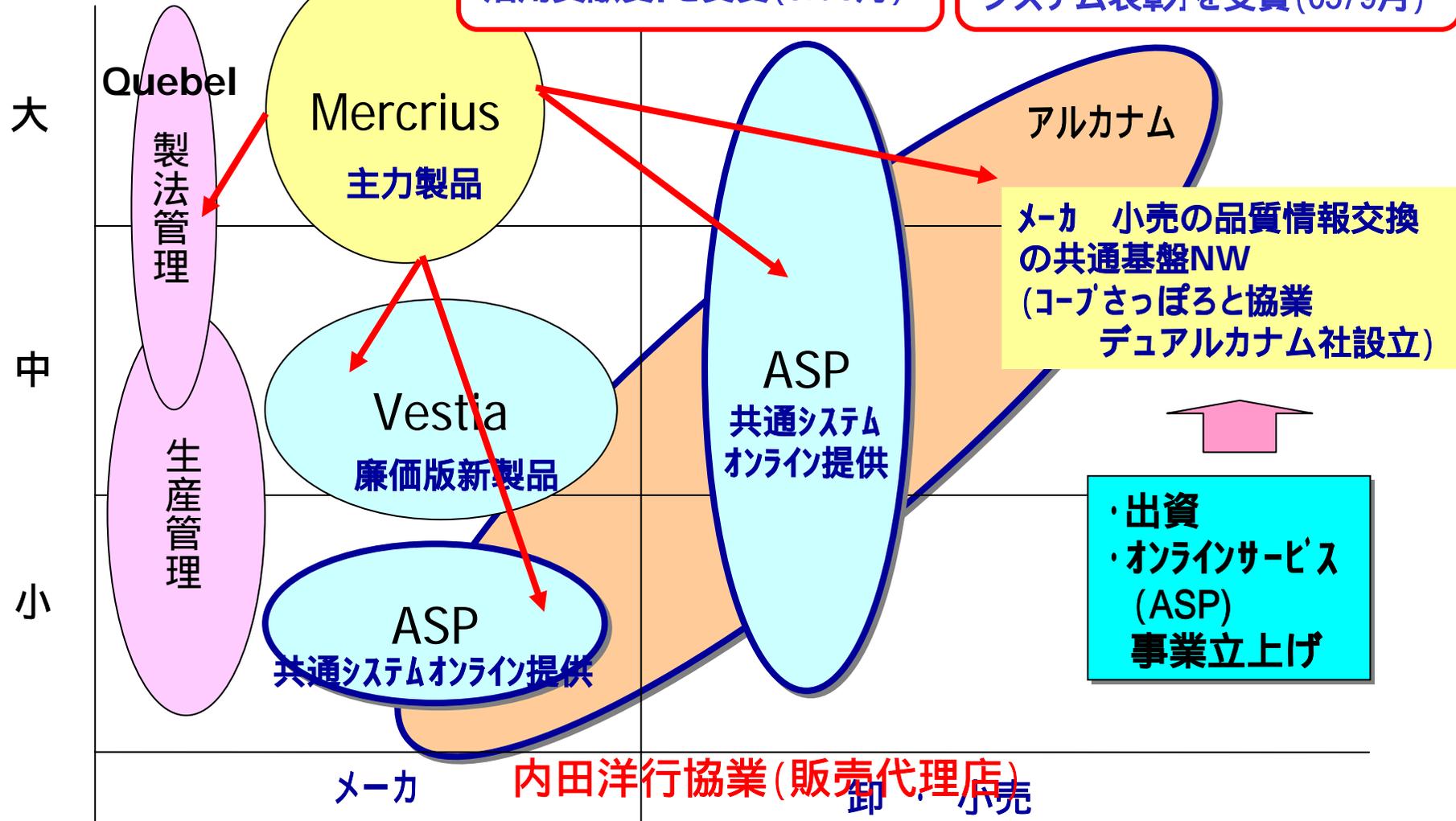
新ソリューション事例 - 1



「食品向け 中小メーカー、流通への展開」

日本食糧新聞社「食品企業IT活用貢献賞」を受賞(07/9月)

「平成17年度情報化促進貢献システム表彰」を受賞(05/9月)

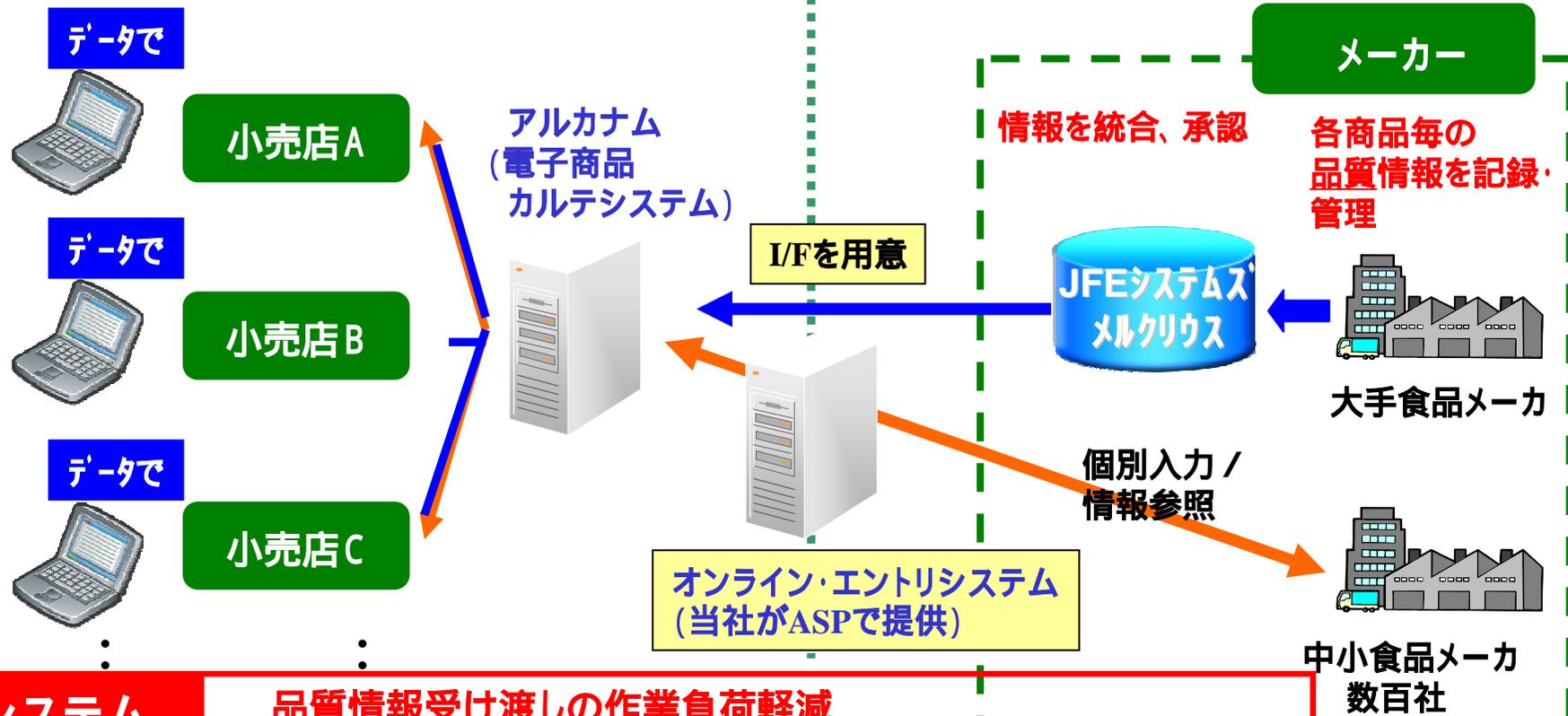


新ソリューション事例 - 2

「電子食品カルテシステム」

デュアルカナム社*が運用するシステム・サービス

*コープさっぽろが当サービス展開のために設立。当社も出資し、役員も派遣。



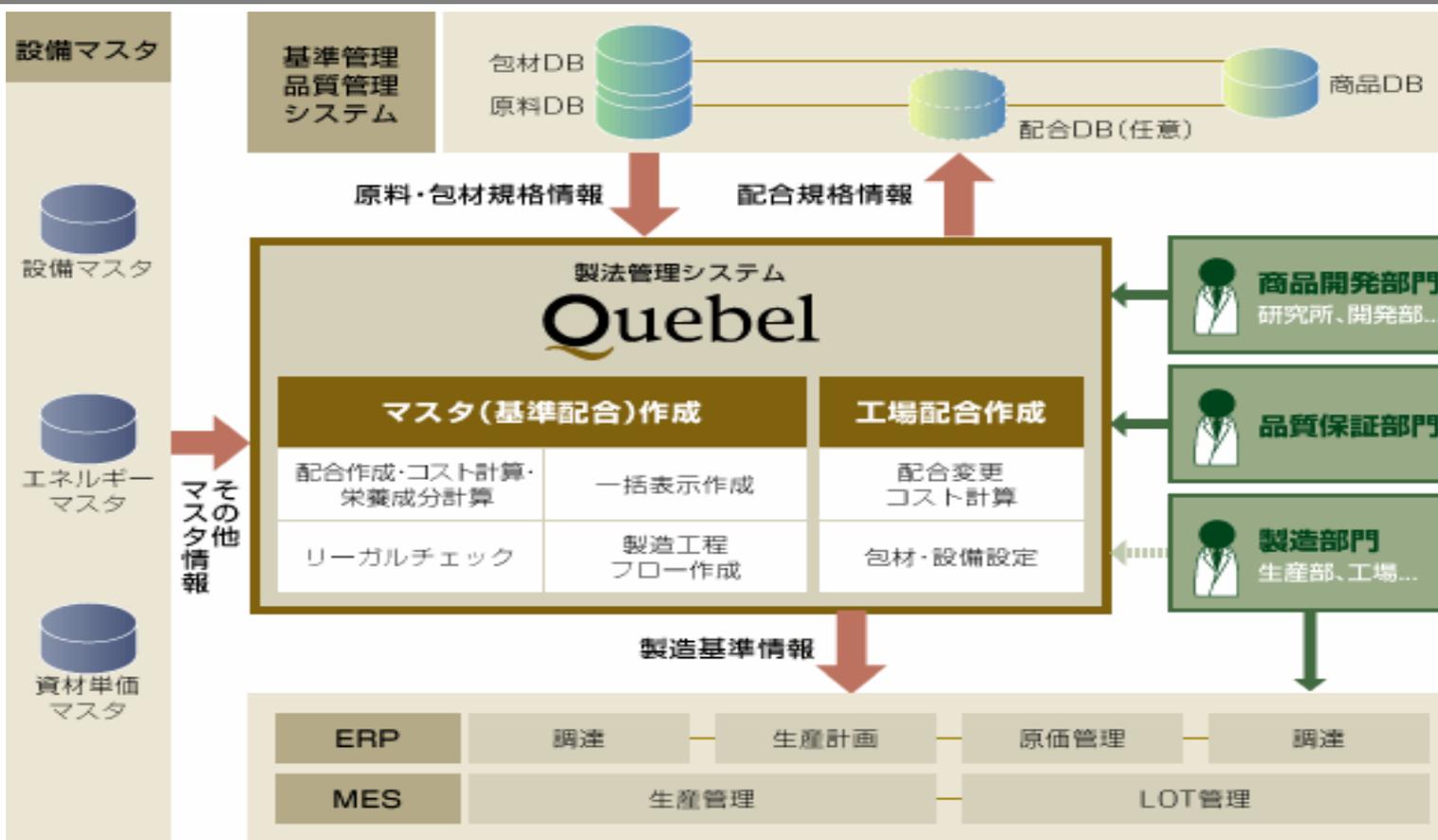
本システム
で期待され
る効果

- 品質情報受け渡しの作業負荷軽減
- 品質情報精度の向上
- 小売・卸・メーカー間での、タイムリーで正確な情報伝達の実現
- 消費者に役立つアウトプットの実現

新ソリューション事例 - 3

製法管理システム「Quebel」

- 食品製造業の**商品開発/品質保証部門**を強力に支援する2大機能を実現。
 - ・配合統合管理
 - ・**食品法規**を前提とした配合チェック(中央法規出版株式会社と提携)
- 基幹の生産管理システムと連携することで、**資材管理の効率化、製造ロスの削減**に寄与。



新ソリューション事例

「CIRCULATE CRM(サーキュレイト・シーアールエム)」



<コンセプト> コールセンタ(顧客窓口)と部門間の情報を循環させ、企業活動を活性化

・テレマーケティング業務の内製化、PDCAサイクルの短縮

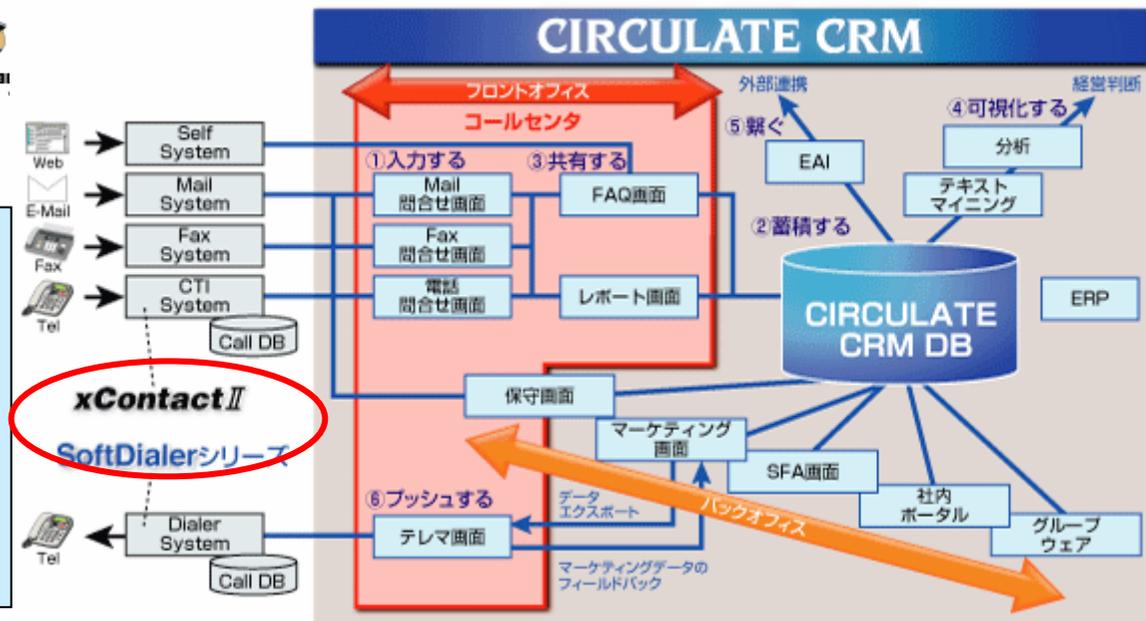
・クレームや、意見などの「顧客の生の声」の活用促進

・企業活動のスピード感、顧客との信頼関係強化

< Microsoftとのアライアンス * >

- ・当社「xContact」、「SoftDialer」
+
Microsoft「Dynamics CRM」
- ・Microsoftによる専門的な技術支援、各種イベント・セミナーの共催

* MicrosoftとはEAIソリューションでも協業中



新ソリューション事例

「IT資産統合運用サービス JgranzNIC」

- 「BCMに有効なネットワーク運用サービスを適正価格で代行」
- 特徴： 鉄での365日24h連続運用のノウハウの活用、 デザスタリカバリに対応した堅牢なインフラSLAに基づく高品質なサービスの提供

<サービスメニュー>

ネットワークヘルプデスク
ネットワークシステムに関わる障害・問い合わせ・申請・広報等

障害管理
ネットワークシステムの障害監視、障害発生時の通知、切り分け・対処・復旧

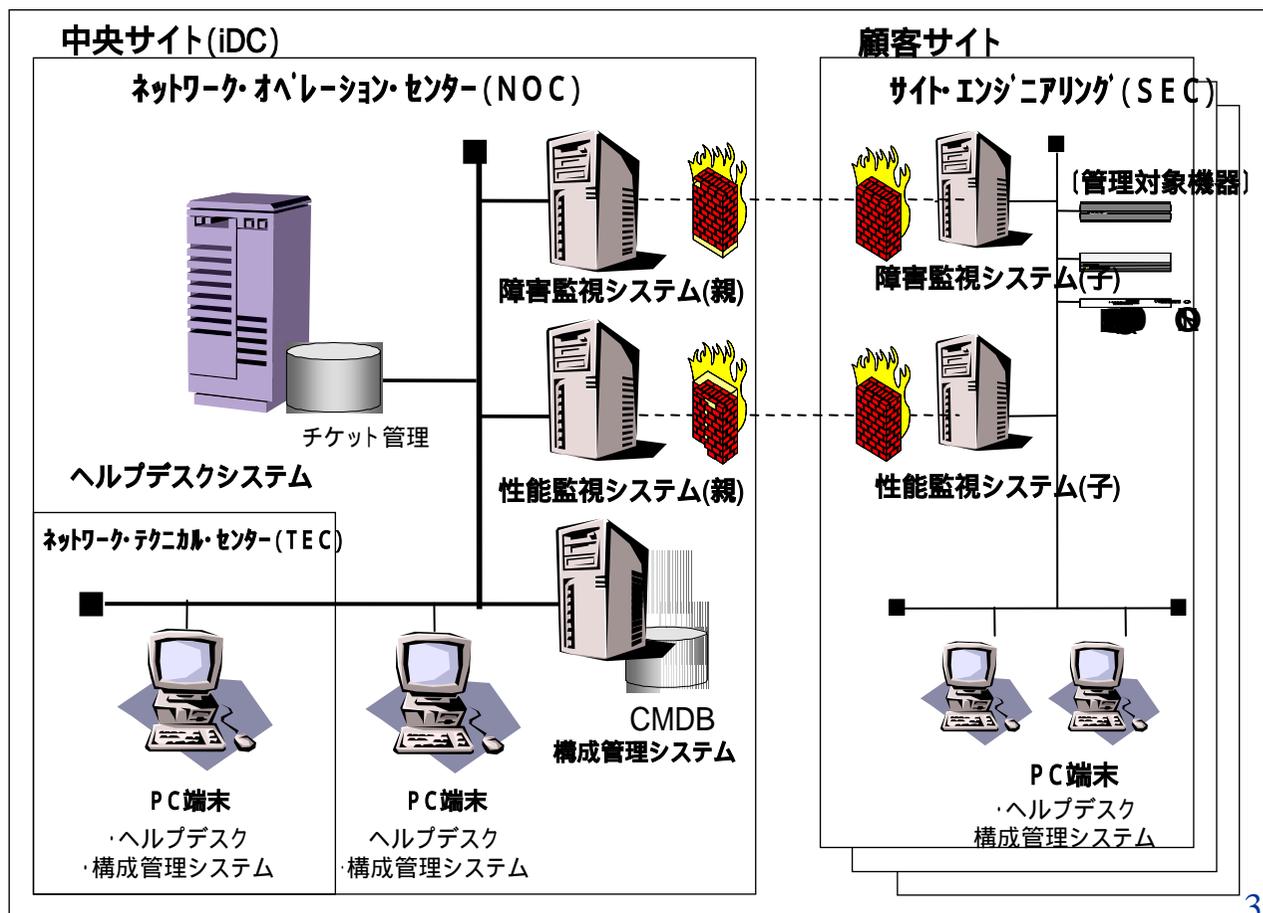
性能管理
ネットワークシステムの性能監視、異常時の通知、切り分け・対処・復旧

構成管理
ネットワークの構成情報(配線・機器)一元管理

設定管理
ネットワーク機器の設定情報を世代単位に保管

セキュリティ管理
ネットワークのセキュリティアセスメント、改善、不正アクセス監視

<システム構成>



JFEスチール戦略的IT投資への対応



補足データ(単体損益)

2007年9月中間期の業績 (単体:期初計画比)



単位:百万円

	期初 計画	実績	計画比増減	
			金額	率
売上高	13,700	13,978	278	2.0%
営業利益	330	333	3	0.9%
経常利益	330	348	18	5.5%
(経常利益率)	2.4%	2.5%	-	-
中間純利益	180	147	33	18.3%
EPS(円/株)	2,292	1,879	413	18.3%

2007年9月中間期の業績 (単体:前年同期比)



単位:百万円

	2006/9 中間期	2007/9 中間期	増減	
			金額	率
売上高	13,960	13,978	18	0.1%
売上総利益	1,876	2,226	350	18.6%
(売上総利益率)	13.5%	15.9%	-	-
営業利益	76	333	257	334.7%
経常利益	92	348	256	275.3%
(経常利益率)	0.7%	2.5%	-	-
特別損益	489	61	428	-
中間純利益	242	147	389	-

2007年9月中間期



事業別売上内訳(単体:前年同期比)

単位:百万円

	2006年 9月中間期	2007年 9月中間期	増減	
			金額	率
ビジネスアプリケーション システム事業(BAS)計	10,760	10,967	207	1.9%
(うちJFES向け)	4,070	4,325	255	6.3%
(うちJFES以外)	6,690	6,642	48	0.7%
プラットフォーム・ソリューション 事業(PBS)計	3,199	3,011	188	5.9%
全社計	13,960	13,978	18	0.1%

2007年9月中間期



事業別売上総利益内訳(単体:前年同期比)

単位:百万円

	2006年 9月中間期	2007年 9月中間期	増減	
			金額	率
ビジネスアプリケーション・ システム事業(BAS)計	1,351	1,663	312	23.1%
(売上総利益率)	12.6%	15.2%	-	-
プロダクトベース・ソリュー ション事業(PBS)計	525	563	38	7.2%
(売上総利益率)	16.4%	18.7%	-	-
全社計	1,876	2,226	350	18.6%
(売上総利益率)	13.5%	15.9%	-	-

2007年9月中間期

販管費、営業外損益の増減(単体:前年同期比)

■ **販売費・一般管理費** : +94百万円

(06/9 : 1,799百万円 07/9 : 1,893百万円)

■ **営業外損益** : 1百万円

(06/9 : 16百万円 07/9 : 15百万円)

■ **特別損益** : 490百万円

(06/9 : 489百万円 07/9 : 61百万円)

* 06/9期に大型案件の開発中止により特損を計上

2007年9月中間期経営指標 (単体:前年同期比)

単位:百万円

	06/9期 実績	07/9期 実績	増減	
			金額	率
借入金	2,180	800	1,380	63.3%
自己資本	7,114	7,597	483	6.8%
総資本	14,132	12,401	1,731	12.3%
自己資本比率	50.3%	61.3%	-	-
ROE	3.4%	1.9%	-	-
従業員数(人)	1,344	1,308	36	2.7%
売上高/人	10.4	10.7	0.3	2.9%
経常利益/人	0.07	0.27	0.20	288.7%

2008年3月期見込み(単体:前期比)

単位:百万円

	07/3 実績	08/3 見込み	増減	
			金額	率
売上高	30,477	30,100	377	1.2%
売上総利益	4,712	5,180	468	9.9%
(売上総利益率)	15.5%	17.2%	-	-
営業利益	1,233	1,400	167	13.5%
経常利益	1,247	1,400	153	12.3%
(経常利益率)	4.1%	4.7%	-	-
特別損益	629	61	568	-
当期純利益	313	760	447	142.6%
EPS(円/株)	3,988	9,678	5,690	142.6%

2008年3月期見込み



事業別売上内訳(単体:前年同期比)

単位:百万円

	2007年 3月期	2008年 3月期	増減	
			金額	率
ビジネスアプリケーション システム事業(BAS)計	23,857	22,442	1,415	5.9%
(うちJFES向け)	8,446	9,109	663	7.9%
(うちJFES以外)	15,411	13,333	2,078	13.5%
プラットフォーム・ソリュー ション事業(PBS)計	6,620	7,658	1,038	15.7%
全社計	30,477	30,100	377	1.2%

2008年3月期見込み



事業別売上総利益内訳(単体:前期比)

単位:百万円

	07/3期 実績	08/3期 見込	増減	
			金額	率
BAS事業	3,447	3,448	1	0.0%
(売上総利益率)	14.4%	15.4%	—	—
PBS事業	1,264	1,732	468	37.0%
(売上総利益率)	19.1%	22.6%	—	—
全社計	4,712	5,180	468	9.9%
(売上総利益率)	15.5%	17.2%	—	—

2008年3月期見込み



販管費、特別損益の増減(単体:前期比)

■販売費・一般管理費：+301百万円

(07/3:3,479百万円 08/3:3,780百万円*1)

*1:人材育成費用、社内システム費用等

■特別損益： 568百万円

(07/3: 629百万円*2 08/3: 61百万円)

*2:大型案件開発中止による損失、事務所移転費用の増加等

連結子会社KITシステムズの業績

< 会社概要 >

- ・資本金:2億円 ・設立:1986年10月 ・株主:当社67.5%、JFE商事32.5%
- ・社長:船谷 幹夫 (会長:岩橋 誠) ・従業員数226名(2007年9月末)
- ・事業内容:情報システム開発/運用、情報通信機器販売/付帯サービス

< 業績 >

単位:百万円

	06/9 中間期	07/9 中間期	増減	07/3 実績	08/3 見込	増減
売上高	3,355	3,550	195	7,359	8,010	651
経常利益	16	10	5	74	80	6
中間純利益	13	9	3	38	38	0

- ・2007年9月中間期はJFE商事向け以外の収益悪化により、経常利益が減少。
- ・2008年3月期は、JFEシステムズとの連携強化により黒字化を目指す。

JFEシステムズ株式会社

ご静聴ありがとうございました。

(ご注意)

本資料の将来の業績等に関する見通しは、リスクや不確定な要因を含んでおります。実際の業績は、さまざまな要因により、見通しとは異なる結果となりうることをご承知おき願います。